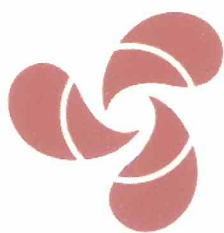


2019 年度 事業報告書・収支決算書

期間：2019年4月1日～2020年3月31日



特定非営利活動法人
せんだい・みやぎNPOセンター

<目次>

はじめに	2
I. 事業報告	4
II. 講師派遣・各種委員会等	17
III. 法人の運営に関する事項	20
IV. 2019年度 決算報告書	23

はじめに

特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター
代表理事 渡 邊 一 馬

せんだい・みやぎNPOセンター（以下、当センター）の2019年度は、法人化して丸20年、そして「せ・み3.0」の実現を掲げてスタートした3ヶ年の中期計画の初年度。当センターの設立趣旨に立ち返り、新しい市民社会の形成を目指し、三本の柱と当センターそのものの組織基盤強化に取り組みました。

1本目の柱は「各サポートセンターの運営業務の深化」です。日々、当センターのスタッフ一人一人が期待される役割のみならず、気がついた事を積極的に実践してきました。その結果、2020年度から仙台市は5ヶ年の指定管理者として、多賀城市は3ヶ年の業務委託として、各市民活動サポートセンターの運営を継続することが出来ています。当センターの各スタッフが培ってきた実績と、中期計画に基づいた今後の取り組み方針を評価いただいたものと考えています。

そして、日々寄せられる相談業務や活動を生み出す仕掛けに、できる限り力を注げるよう業務改善を進めるシステムの検討を進めようとしているところに、新型コロナウイルス感染症への対策が必要になりました。予定していた観点ではありませんが、リモートワークを推進することとなり業務の棚卸しが進んでいます。

2本目の柱は「地域課題の発掘と解決に向けた具体の活動の推進」です。2015年度より、一般社団法人パーソナルサポートセンター、特定非営利活動法人都市デザインワークスとの連携協定に基づき調査研究と実証実験を進め、新たな市民活動支援の仕組みとして「社会課題解決のプラットフォーム」構想をまとめました。また、コロナ禍への対応にもこの仕組みを応用して取り組むことをはじめています。

3本目の柱は「市民の挑戦を通した未来の市民社会のデザイン」です。本格的に取り組むのは2020年度からとじていましたが、各センターに持ち込まれる多様な相談から「10年後に社会を大きく変える可能性があるアイデア」のタネを拾い上げ、エンパワーメントする取り組みがいくつか起きています。

当センターの「組織基盤強化」も順次進めてきました。外部から組織開発の

専門化を招聘し、価値規範を見直すワークショップを全スタッフとともに開催。2019 年度中に一旦の完成を目指していましたが、感染症対策のため後半のワークショップを延期せざるを得ませんでした。しかし、2020 年度中には完成の見込みです。

また、ハラスメントに関する内部研修会や、別団体が行っている研修会にも積極的にスタッフを派遣し、学びを深めています。そして、何人もの新たなスタッフを迎えることが出来、手薄だった本部機能の強化も進行中です。

2020 年度はコロナ禍への対応を軸に、市民が自ら課題を設定し、行政を巻き込み、他セクターと協働して課題解決を推進していく、そんな市民社会の創造を目指して活動を進めていきます。

2020年 6月14日

I. 事業報告

事業名	分類	(1) サポートセンター運用業務の深化	定款 第4条 (活動の種類と事業) 2項 (1) 人材の発掘と育成に係る事業 (2) 相談・コーディネート事業 (3) マネージメントサポート事業 (4) ネットワーキング事業 (5) 調査研究および政策提言事業 (6) 情報サポート事業																																																	
	平成31年度 仙台市市民活動サポートセンター管理運営業務																																																			
目的	「仙台市協働によるまちづくりの推進に関する条例」の基本理念に基づく協働によるまちづくりを推進するために、仙台市市民活動サポートセンターの管理・運営を行う。																																																			
実施概要	<p>仙台市市民活動サポートセンター(以下、仙サポ)は、本指定管理期間(平成27年度～31年度)、下記の方針のもと施設運営および事業に取り組んできた。</p> <p>運営基本方針:3つのエンジンで、市民の力を育み、都市の力へとつなぎます。</p> <p>事業実施方針:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自立のエンジン:地域や社会課題解決の解決力を持つ組織を生み出す。 ・連携のエンジン:クロスセクターによる課題解決を推進する。 ・創発のエンジン:協働による調査研究と、その成果の社会還元をもたらす。 																																																			
	<p>1. 平成31年度施設運営(2019年4月1日～2020年3月31日)</p> <p>(1)実績</p> <p>総利用件数/人数 16,994件(前年度比 91%) / 63,621人(前年度比 92%) 相談件数 /人数 763件(前年度比 86%) / 874人(前年度比 85%)</p> <p>(2)概略</p> <p>○基本機能(施設利用、情報収集提供業務、相談機能)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年10月の台風19号および令和2年2月以降の新型コロナウイルスの影響により、利用件数・利用人数が減少。台風19号では10月12日(土)の閉館時間を午後5時に繰り上げ。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、3月5日(木)よりフリースペースなど一部サービスを休止中。 ・事務用ブースは、2020年2月に新規入居が1団体あり、7ブース全て入居中。 ・情報収集提供業務では、令和元年10月に発生した台風19号の災害ボランティア情報や、令和2年に入ってから新型コロナウイルスに関する支援情報などについて、速報性を意識し頻繁にブログを更新した結果、ブログの訪問者(ユニークユーザー:UU)は30年比105%の40,839件。閲覧数(ページビュー:PV)は30年度比116%の593,184件と増加した。 ・相談は件数(763件)、人数(874人)ともに前年より減少したが、営利組織・教育機関・地縁組織・行政などの相談は増加した(130件、30年度比118%)。 <p>2. 平成31年度事業運営</p> <p>(1)実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">実施事業</th> <th>回数/参加人数(定員)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">情報収集提供業務</td> <td>1-1</td> <td>市民活動や協働に関する情報の収集提供業務</td> <td>・チラシ等 3,600 件</td> </tr> <tr> <td>1-2</td> <td>施設機関紙やWEB媒体での発信による市民活動や協働の情報提供</td> <td>・機関紙毎月発行 ・WEBブログ記事投稿 292 件 ・骨プロ 763 件</td> </tr> <tr> <td>1-3</td> <td>市民メディアの担い手育成</td> <td>・課外活動のべ 50 名</td> </tr> <tr> <td colspan="2">相談業務</td> <td>2</td> <td>多様な相談に対する対応の実施</td> <td>・763 件</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">自立</td> <td>市民活動者の育成</td> <td>3</td> <td>市民活動を「知る」「体験する」「学ぶ」機会づくり</td> <td>・7回/90名(60名)</td> </tr> <tr> <td>市民活動力強化</td> <td>4</td> <td>市民活動者の人材育成・活動力強化</td> <td>・2回/26名(30名)</td> </tr> <tr> <td>市民活動団体の組織運営基盤</td> <td>5</td> <td>市民活動団体の組織運営基盤強化</td> <td>・4回/48名(80名)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">連携</td> <td>市民活動団体のネットワーク化支援</td> <td>6</td> <td>市民活動団体の交流機会の創出</td> <td>・7回/303名</td> </tr> <tr> <td>多様な主体による協働の推進</td> <td>7</td> <td>多様な主体による協働の推進</td> <td>・マチノワ 10 企画/524 名 ・対話 3回/908 名</td> </tr> <tr> <td>多様な主体による協働を推進するノウハウ抽出</td> <td>8</td> <td>多様な主体による協働を推進するノウハウ共有</td> <td>・新型コロナウイルスの影響で次年度へ延期</td> </tr> <tr> <td>創発</td> <td>市民活動等に関する調査研究及び成果公表</td> <td>9</td> <td>市民社会形成に必要な施策検討に向けた調査研究</td> <td>・ソーシャルハブせんだい 4回/103名</td> </tr> </tbody> </table>			実施事業			回数/参加人数(定員)	情報収集提供業務	1-1	市民活動や協働に関する情報の収集提供業務	・チラシ等 3,600 件	1-2	施設機関紙やWEB媒体での発信による市民活動や協働の情報提供	・機関紙毎月発行 ・WEBブログ記事投稿 292 件 ・骨プロ 763 件	1-3	市民メディアの担い手育成	・課外活動のべ 50 名	相談業務		2	多様な相談に対する対応の実施	・763 件	自立	市民活動者の育成	3	市民活動を「知る」「体験する」「学ぶ」機会づくり	・7回/90名(60名)	市民活動力強化	4	市民活動者の人材育成・活動力強化	・2回/26名(30名)	市民活動団体の組織運営基盤	5	市民活動団体の組織運営基盤強化	・4回/48名(80名)	連携	市民活動団体のネットワーク化支援	6	市民活動団体の交流機会の創出	・7回/303名	多様な主体による協働の推進	7	多様な主体による協働の推進	・マチノワ 10 企画/524 名 ・対話 3回/908 名	多様な主体による協働を推進するノウハウ抽出	8	多様な主体による協働を推進するノウハウ共有	・新型コロナウイルスの影響で次年度へ延期	創発	市民活動等に関する調査研究及び成果公表	9	市民社会形成に必要な施策検討に向けた調査研究
実施事業			回数/参加人数(定員)																																																	
情報収集提供業務	1-1	市民活動や協働に関する情報の収集提供業務	・チラシ等 3,600 件																																																	
	1-2	施設機関紙やWEB媒体での発信による市民活動や協働の情報提供	・機関紙毎月発行 ・WEBブログ記事投稿 292 件 ・骨プロ 763 件																																																	
	1-3	市民メディアの担い手育成	・課外活動のべ 50 名																																																	
相談業務		2	多様な相談に対する対応の実施	・763 件																																																
自立	市民活動者の育成	3	市民活動を「知る」「体験する」「学ぶ」機会づくり	・7回/90名(60名)																																																
	市民活動力強化	4	市民活動者の人材育成・活動力強化	・2回/26名(30名)																																																
	市民活動団体の組織運営基盤	5	市民活動団体の組織運営基盤強化	・4回/48名(80名)																																																
連携	市民活動団体のネットワーク化支援	6	市民活動団体の交流機会の創出	・7回/303名																																																
	多様な主体による協働の推進	7	多様な主体による協働の推進	・マチノワ 10 企画/524 名 ・対話 3回/908 名																																																
	多様な主体による協働を推進するノウハウ抽出	8	多様な主体による協働を推進するノウハウ共有	・新型コロナウイルスの影響で次年度へ延期																																																
創発	市民活動等に関する調査研究及び成果公表	9	市民社会形成に必要な施策検討に向けた調査研究	・ソーシャルハブせんだい 4回/103名																																																

実施概要	<p>(2)概略</p> <p>①情報収集提供業務 ・新型コロナウイルスで市民活動団体のイベント自粛があった影響もあり、紙媒体での情報取扱いが減少(3,600件、30年度比94%)。一方でブログは訪問者数・閲覧数ともに増加。</p> <p>②相談業務 ・多様な主体からの相談が増加傾向。任意団体、NPO法人による「多様な主体による協働の相談」の件数も合計22件で30年度の10件から倍以上増加。様々な主体がつながり、課題を解決していく芽が出てきている。</p> <p>③自立のエンジン ・「ちょっと。ボランティア」をきっかけに団体の活動に参加した事例が2件。サポートセンターの事業への継続参加が1件。「サポセン・コトハジメ塾」では8件が相談につながり、サポートセンターへの他の事業への参加が1件。これらの事業が、サポートセンターへの初来館のきっかけとなり(初来館者34名)、さらに次の行動へとつながった。</p> <p>④連携のエンジン ・「多様な主体による協働の推進」としてサポートセンター開館20周年記念イベント「超！マチノワ」を実施。10企画で524名が参加した。市民参加企画では2事業者がポスター展示やブース出展を行った。</p> <p>⑤創発のエンジン ・社会課題解決プラットフォームの試行を開始し、「市役所低層部における共創プラットフォームをつくる」をテーマにしたセッションで、「これからの市民協働を作る場(=共創プラットフォーム)をつくらう」という内容の提言をまとめた。提言には「市庁舎低層部につくられる意義」を組み込み、仙台市財政局本庁舎建替準備室に提出し意見交換を行った。</p>
成果	<p>○開館20周年を迎え市民活動のこれまでを振り返り、多様な主体による協働を推進</p> <p>・開館20周年記念イベント「超！マチノワ」にて、脱スパイクタイヤ運動を振り返るシンポジウムや、震災後の市民活動を伝えるシンポジウムを実施した。交流会には、市民活動団体のみならず、企業・行政・議員など多様な所属の人材が参加し、セクターを超えた交流が生まれた。</p> <p>・機関誌「ばれっと」で8件10事業者の協働事例や社会貢献活動を紹介した他、多様な主体が参加し課題解決に取り組む「ソーシャルハブせんだい」の試行に至った。多様な主体からの相談や、市民活動団体からの協働相談も増加傾向にあり、協働推進の拠点として認知され始めている。</p>
課題	<p>○新型コロナウイルス感染症の経験をもとにした、新しいサービス提供の検討</p> <p>・新型コロナウイルスの影響で、施設としてサービス休止を余儀なくされた一方、市民活動団体等は活動の自粛や資金源の減少に見舞われた団体も少なくない。新型コロナウイルス感染症の拡大防止策として、密閉空間・密集場所・密接場面の三密を避けることが提唱され、市民活動で用いられてきた「集まり交流する」という方法について安全に行うための検討や見直しが求められてきている。さらには、リモート会議の広まりや、インターネットを活用したセミナーなどが急速に広まる一方、ICT化についていけない高齢者などが情報から取り残されるといった問題や、経済的な影響からくる困窮者の生活課題、世界的な交流の停滞からくる外国人をとりまく問題などが噴出することが予想される。サポートセンターとしても、施設管理・事業運営の両面において検討すべき事項が次々と出てくることが予測され、それらに対し柔軟に対応していく必要がある。</p>
備考	<p>担当課：仙台市市民協働推進部市民協働推進課</p>

事業名	分類	(1) サポートセンター運用業務の深化	定款 第4条 (活動の種類と事業) 2項 (1) 人材の発掘と育成に係る事業 (2) 相談・コーディネート事業 (3) マネージメントサポート事業 (4) ネットワーキング事業 (5) 調査研究および政策提言事業 (6) 情報サポート事業
	平成31年度 多賀城市市民活動サポートセンター管理運営業務		
目的	多賀城市との協働により、市民活動支援を中心に幅広い地域づくりの促進を目的とする公共施設の運営を通して、多賀城市を中心とした地域における市民活動の発展と活性化を図り、市民自治を強化する。		
実施概要	<p>多賀城市市民活動サポートセンター(以下、TSC)は2008年6月開館。市民活動の拠点施設として、NPOや自治会・町内会、生涯学習団体等による地域づくりをサポートしている。平成31年度で、開館11周年を迎えた。また、平成29～31年度の3年間業務委託の3年目にあたる。</p> <p>●平成29～31年度 施設運営方針</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域の課題を解決する、地域の価値を創造するためのさまざまな主体による連携の仕組みづくり 2. 地域づくりに関わる人材育成 3. 市民活動やTSCを知る市民の増加 <p>【利用者数等】</p> <p>総利用件数 5,614件 (前年度比 86%) 総利用人数 25,734人 (前年度比 82%) 相談件数 414件 (前年度比 89%)</p> <p>・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3月2日～31日のうち休館日を除く26日間、一部休館(貸室・フリースペース使用不可)となった。115件1,915人の貸室利用分(見込数)が減少。利用数減に大きく影響した。新型コロナウイルスを理由とした使用取消34件。うち還付28件(2・3月受付分)</p> <p>【事業実施状況】</p> <p>36本実施 参加者数:のべ2,410名 参加団体:46団体</p> <p>(1)課題解決のための連携モデルづくり</p> <p>①多様な主体で課題に向かう場づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度実施のTSR会議 Vol.2のテーマ「だれも取り残さない社会」に向けた実践的な取り組みとして、ニーズとして挙げた日本で働く外国人と車いす利用者の視点でまちをあるく企画を実施した。これをきっかけに市民活動団体・企業・市内公共施設等と連携した具体的・継続的な取り組みが生まれつつある。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のためTRS会議 Vol.3開催見合わせにともない、これまでの取り組みを紹介し、今後につなげる『TSRvol.2多賀城から持続可能な関係性を探る冊子』発行。 <p>※自治会・町内会運営支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区長・役員とのコミュニケーションや相談対応を通して、地域や自治会に関する情報収集を行い、支援情報として活用した。 ・自治会の情報発信を取り上げ、展示やトークイベントを行うことで、自治会活動をしている方同士の情報交換の場をつくった。 <p>(2)人材育成事業</p> <p>①雑貨市</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民活動に関わったことがない方を対象に、市民活動団体が販売している雑貨の購入やワークショップを通して、市民活動を知ってもらう機会を提供した。クリスマスの時期に加え、市内イベントへの出展「おでかけミニ雑貨市」を3回実施した。 <p>②NPOきっかけ塾</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「NPOいちから塾」1回、「出前いちから塾」5回(NPO1回、他講座受講者1回、市内中学2回、大学1回)、「たがさぼカフェ」3回(市内イベント出展)を実施し、市民活動の理解を広げるとともに、活動に一步踏み出す市民を生んだ。 <p>③Tagajo Future Labo(6回開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1回目を公開講座として実施し、受講生の掘り起こしにつながった。 ・11名の受講者のうち10名がプランの発表に至った。7名がすでに何かの形で活動中であり、3名がこれから活動を始める予定。 		

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">実施概要</p>	<p>(3)地域連携事業</p> <p>①フリーペーパー「tag」発行(月1回2,000部発行)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業の社会貢献、企業とNPOの連携、自治会の工夫についても掲載し、幅広く地域づくり情報を発信した。 ・過去の記事を再編集し、「町内会」「子ども」に関する号をまとめた冊子を作製。蓄積したノウハウを各対象に提供することができた。 <p>②市民の発信力強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「伝える」をテーマに3回講座を実施し、TSC 利用団体のほか、既活動者や講座参加者、町内会、新しく活動の準備をしている人などが、総勢 32 名参加した。これまでの活動のブラッシュアップの機会となり、具体的に情報発信のアクションにつながった。 <p>(4)市職員研修事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「令和時代の行政と社会の変化・働き方の変化について」をテーマに講座を実施。21 名参加。 <p>【その他】</p> <p>上記の事業以外の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他部署・他機関との情報交換や取り組みの場への参加を継続。その中から他機関との連携が生まれ、それぞれの強みを活かした展示やイベントを行うことで、様々な層に市民活動を知る機会を提供することができた。
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">成果</p>	<p>①具体的な課題に多様な主体で協力して取り組む</p> <p>平成 30 年度実施のTSR会議 Vol.2のテーマ「だれも取り残さない社会」に向けた実践的な取り組みとして、ニーズとして挙げた日本で働く外国人と「車いす利用者の視点でまちをあるく企画」を実施した。当事者・企業・支援団体・地域の公共施設・相談機関等に協力・参加していただく中で、お互いの現状やできることを情報交換することができ、具体的・継続的な取り組みのきっかけとなった。外国人対象のまちあるきは、支援団体主催の公開研修会実施につながり、その後、外国人対象の日本語講座開催に向けた動きなど、市民活動団体・企業・市内公共施設等と連携した具体的・継続的な取り組みが生まれつつある。</p> <p>②アクションを起こす市民を生む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NPOいちから塾やTAGAJO Future Laboなどの講座をきっかけに、自分の思いをかたちにし、行動を起こす市民を生むことができた。また、相談を通して新たな活動が立ち上がり、事業間の連携や、講座後のフォローアップ対応が効果を上げた。 ・相談対応では、区長制度廃止後の自治会・町内会運営や、新型コロナウイルス感染拡大の中でのイベント運営など、新たな課題に対応できるよう支援を行った。 ・TSCの支援であわせて7団体が立ち上げ・法人化に至った。 <p>③市民活動やTSCの認知が広がる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内外で開催された8つのイベントに、おでかけミニ雑貨市、たがさぽカフェ、NPOの絵本展で出展し、来館者以外にも身近な市民活動や社会課題、TSCを知る機会を設けた。 ・クリスマス雑貨市では、来場者のうち 64.5% (アンケート集計による) が新規で来館し、新たに市民活動やTSCを知る市民が増加した。 ・事業告知や報告が、地元紙などのメディアに 17 回取り上げられた。
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">課題</p>	<p>①TSCと各セクターの関係づくり、個々の主体同士のコーディネートを引き続き行っていくとともに、各セクターが自ら課題を発信し、連携による課題解決のプロセスを描けるような支援も必要である。</p> <p>②区長制度廃止に伴う自治組織の変化に対し、課題解決に向けた支援に注力するとともに、新たな手法の提案を行う必要がある。</p> <p>③市内施設・機関と連携し、地域の担い手育成や連携による課題解決を広めていく必要がある。</p> <p>④特に「今後市民活動に参加してみたい」と考えている層に対し、身近な市民活動や社会課題、TSCを知る機会を提供し、活動に一步踏み出す働きかけが必要である。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">備考</p>	<p>詳細は、ウェブサイト【https://www.tagasapo.org/】に掲載している報告書をご確認ください。</p> <p>担当課：多賀城市総務部地域コミュニティ課</p>

事業名	分類	(1)サポートセンター運用業務の深化	定款 第4条(活動の種類と事業)2項 (1)人材の発掘・育成に係る事業 (2)相談・コーディネート事業 (3)マネジメントサポート事業 (4)ネットワーキング事業 (5)調査研究および政策提言事業 (6)情報サポート事業
	平成31年度 岩沼市市民活動サポートセンター運営支援事業		
目的	岩沼市市民活動サポートセンターの運営支援を行い、市民の参画による協働のまちづくりを推進する。		
実施概要	市民活動サポートセンターの運営についての助言、相談員派遣、市民向け講座を実施した。		
	1. 定例会議および相談会(定例会議:第2金曜日、相談会:第2金曜日・第4土曜日)		
		定例会議	相談会
	実施月	日程	件数・内容
	平成31年4月	12日(金)	12日(金)、20日(土) 3件(いずれも助成金相談)
	令和元年5月	10日(金)	10日(金)、25日(土) 4件(助成金相談3件、チャレンジショップ入居者からの相談1件)
	6月	14日(金)	14日(金)、22日(土) 2件(シニア活動相談、団体立ち上げ相談)
	7月	12日(金)	12日(金)、27日(土) 1件(チャレンジショップ入居者からの相談)
	8月	9日(金)	24日(土) 0件(相談なし)
	9月	13日(金)	13日(金)、28日(土) 3件(シニア活動相談、思いの整理、起業相談)
10月	11日(金)	11日(金)、26日(土) 0件(相談なし)	
11月	8日(金)	8日(金)、22日(土) 2件(いずれもスタッフからの運営相談)	
12月	13日(金)	13日(金) 2件(団体立ち上げ相談、組織運営相談)	
令和2年1月	10日(金)	10日(金)、25日(土) 1件(チャレンジショップ入居者からの相談)	
2月	14日(金)	14日(金)、22日(土) 1件(新規事業相談)	
3月	13日(金)	新型コロナウイルス感染防止のため施設休館。相談会中止。	
2. 市民向け講座への講師派遣 市民活動お役立ちシリーズ「ポスターを活用した広報」 広報計画と広報ツールに合わせた情報発信の仕方について講座を実施。 日時:令和元年8月9日(金)13:30-15:00 会場:いわぬま市民交流プラザ			
3. なかま交流プラスへの出席 岩沼市市民活動サポートセンター主催事業である「なかま交流プラス」に出席し、総括として発言した。 ①令和元年7月28日(日)10:00-12:00 会場:いわぬま市民交流プラザ ②令和2年1月30日(木)10:00-12:00 会場:いわぬま市民交流プラザ			
4. スタッフ研修 岩沼市市民活動サポートセンターのスタッフ向けに研修を実施した。 ①令和2年2月14日(金)10:30-12:00 スタッフの疑問点・知りたいことの洗い出し ②令和2年3月13日(金)10:30-12:00 施設の設置目的、「非営利組織・市民活動を知る」 ③令和2年3月27日(金)10:30-12:00 「助成金を知る」			
5. その他 平成31年4月12日(金) 岩沼市市民活動助成金説明会出席 令和元年10月5日(土) いわぬま市民交流プラザ1周年記念イベント出席			
成果	①相談会の実施回数が増えたこともあり、相談件数が平成30年度の14件(相談会16回)から19件(相談会20回)に増加した。 ②スタッフ向け研修を3回実施。新規スタッフも含めて、基礎から力付けを行うことができた。		
課題	①いわぬま市民交流プラザは将来的に、地元の団体等への委託または指定管理での運営が検討されている。地元の団体等での運営がなされる際に、現在のスタッフが継続雇用されることも考えられるため、より一層のスタッフの力付けが求められる。		
備考	担当課:岩沼市さわやか市政推進課		

事業名	分類	(1)サポートセンター運用業務の深化	定款 第4条 (活動の種類と事業) 2項 (1) 人材の発掘・育成に係る事業 (2) 相談・コーディネート事業 (3) マネージメントサポート事業 (4) ネットワーキング事業 (5) 調査研究および政策提言事業 (6) 情報サポート事業	
	令和元年度 柴田町まちづくり推進センター運営支援事業			
目的	柴田町まちづくり推進センター”ゆる.ぶら”の運営支援を行い、まちづくり支援人材の育成と、住民によるまちづくりの拡充を図る。			
実施概要	1. センター運營業務等の支援 (1) ニュースレターの企画、制作への助言 (2) センターへの支援機能の充実策への助言 (3) スタッフ研修 年間6回(各2時間)のスタッフ研修(事業検討、事業計画作成など)を実施し、ゆる.ぶらスタッフの事業企画力を高めた。			
		実施日	テーマ	内容
	1	令和元年 7月5日(金)	レイアウト変更の検討	施設のレイアウトについて意見交換しながら、配置を検討した。
	2	8月30日(金)	手作りチャリティー市の準備	チャリティー市へ向けて、企画および準備の確認を行った。
	3	10月31日(木)	手作りチャリティー市ふりかえり	チャリティー市のふりかえりと今後の運営について検討した。
	4	12月20日(金)	次年度事業計画①	次年度事業計画へ向けて、事業案を持ち寄り検討した。
	5	令和2年 1月31日(金)	次年度事業計画②	次年度事業の実実施スケジュールを検討した。
	6	2月27日(木)	次年度事業計画③	次年度事業の担当割と、進め方を確認した。
	(4) 交流イベントへの企画・運営参画			
		タイトル	ゆる.ぶらチャリティー手作り市	
	内容	手作り品の販売・体験ブースの出展、ステージ発表を通して、まちづくりの活動者と市民との交流の機会を創出するイベント。販売品については1点につき100円がチャリティーとして柴田町内で活動する3団体や「赤い羽根共同募金」に寄付される。		
	日時	令和元年9月29日(日)10:30~13:00		
	会場	柴田町まちづくり推進センター”ゆる.ぶら”		
	参加団体	12団体		
成果	○センター運營業務等の支援 ・昨年度までのスタッフ研修の成果がみえ、各スタッフが事業の目的や成果について意識しながら企画・運営を行っている。特に、自主的な企画の改善、建設的なアイデアの提案ができるようになった。 ・ミーティングや研修で、積極的に発言できる環境が整ってきたことにより、それぞれのスタッフが、お互いの個性・長所を認識し、それを活かすような役割分担で事業の企画・運営・報告を行うようになった。 ・相談対応の中で不安に感じたことや確認が必要な点などを、ミーティングで共有する習慣ができたことにより、相談対応の質が向上した。			
課題	○センター運營業務等の支援 ・今後スタッフが入れ替わることも想定されるため、担当が変わった場合でも、補い合えるような人材育成が必要である。			
備考	委託元: 特定非営利活動法人余白			

事業名	分類	(2) 地域課題の発掘と解決に向けた具体的な活動の推進	定款 第4条 (活動の種類と事業) 2項 (1) 人材の発掘・育成に係る事業 (2) 相談・コーディネート事業 (3) マネージメントサポート事業
	「BRANCH仙台」におけるまちづくりスポットの活用に関する地元関係者向けの勉強会等のコーディネートと運営主体の形成支援と運営支援		
目的	地域社会・NPOと共に推進する地域の交流と活動拠点「まちづくりスポット」の活用方法と運営のあり方を地元関係者等と検討し、運営主体とある団体の立ち上げ支援と初動の拠点運営支援を行う。		
実施概要	<p>2018年11月29日に「BRANCH仙台」のWEST棟がオープンし、その一画を活用しながら、まちづくりスポット仙台(まちスポ)の活用方法の検討を重ねてきた。</p> <p>2019年4月25日にEAST棟がオープンし、まちスポの本格運営に向けて動きだした。スタッフの確保や契約等、現地を拠点するNPO法人まちづくりスポット仙台が設立するまでは当センターが応援する形をとり、9月から体制を移行した。その後は、運営に関するサポートや助言などを随時行った。</p> <ol style="list-style-type: none"> まちづくり labn の企画 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 「まちづくり実験室」の開催:2019年5月6日(月) <input type="checkbox"/> オープニングセレモニー関連のイベント実施・企画調整 <ul style="list-style-type: none"> ・4/30(火)、5/1(水):スラックライン体験会 企画協力:NPO法人仙台スラックライン ・5/3(金)、4(土):「RRANCH仙台 なつかしい昭和 仙台を語る会」(写真展示と上映会) 企画協力:NPO法人 20世紀アーカイブ仙台 情報発信支援 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> まちスポ利用規定等(リーフレット)の作成と広報活動 https://www.machispo-sendai.com/ <input type="checkbox"/> ウェブサイトの準備・開設、SNSの活用 運営主体のNPOの組成とスタッフ募集 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 4月よりスタッフ採用。 <input type="checkbox"/> 団体組成ミーティングの開催:4/18(木)、29(月)、5/6(月)、14(火)、28(火)、6/8(土)、18(火) <ul style="list-style-type: none"> ※設立総会:7/28(日)、設立日:9/3(火) <input type="checkbox"/> 運営会議への参加:10月以降月1回開催の運営会議に出席し、進捗の共有を行い、運営に関することや事業企画に関する相談を受けた。 <input type="checkbox"/> その他、労務や会計等に関する実務、諸手続きに関する助言を行った。 まちづくりスポットの管理・運営 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 利用規定の作成とともに、受付体制の検討ののち、6月貸しスペースの運用がはじまった。 関係機関との打合せ、告知協力等 <p>現地スタッフを中心に、桜ヶ丘連合町内会、長命ヶ丘連合町内会、川平連合町内会、宮城学院大学、児童館、市民センター、コミュニティセンター、協力団体等と、継続的な情報交換等を行い、関係構築に努めた。</p> 		
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の組成については、当初6月を目標に動き始めたが、準備等諸手続きに時間を要したため、9月設立となった。運営に関しては、当センターが管理していたものを段階的に移行し、現場スタッフがマネジメントできる体制とした。 		
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・事業企画と組織運に関して、スタッフの役割分担と実務の習得 		
備考	<p>委託元 : 大和リース株式会社 (委託は、4月～8月)</p> <p>現地パートナー : NPO法人まちづくりスポット仙台(2019年9月法人設立)</p>		

事業名	分類	(2) 地域課題の発掘と解決に向けた具体的な活動の推進	定款 第4条 (活動の種類と事業) 2項 (1) 人材の発掘・育成に係る事業 (2) 相談・コーディネート事業 (3) マネージメントサポート事業																
	令和元年度仙台市NPO法人組織基盤強化事業																		
目的	<p>仙台市内のNPO法人の組織運営上の課題、特に活動を支援継続に導くための事務能力・コンプライアンス意識を高めることで、法人の組織基盤を強化し、法人に対する市民の信頼を高め、協働によるまちづくりの担い手としての力の発揮につなげる。</p>																		
実施概要	<p>○「NPO法人のための組織・事務力パワーアッププログラム」と題して、2019年10月～2020年3月にかけて開催。NPO法人杜の伝言板ゆるると連携し、仙台市との協働事業として実施した。</p> <p>1. セミナーの開催 実施内容: 事業継承セミナー、リスクマネジメントセミナー、労務セミナー 計3回 杜の伝言板ゆるると合わせ5回開催し、延べ31団体40名が参加した(3/12は中止)。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日時</th> <th>セミナー名</th> <th>講師</th> <th>参加団体数・参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11月12日(火) 13:30～16:00</td> <td>どう考える?! NPOの世代交代・事業継承セミナー</td> <td>土佐 昭一郎 (せんだい・みやぎNPOセンター代表理事、 ミヤギユースセンター代表) 事例提供: 小川ゆみ(一般社団法人マザー・ ウイング代表理事) アドバイザー: 茂木宏友(司法書士)</td> <td>5団体 6名</td> </tr> <tr> <td>1月16日(木) 13:30～15:30</td> <td>NPO法人のためのリスクマネジメント</td> <td>中原 美香氏 (NPOリスクマネジメント・オフィス代表)</td> <td>4団体 7名</td> </tr> <tr> <td>2月13日(木) 13:30～15:30</td> <td>働く環境を整える労務セミナー</td> <td>田山 勉氏 (特定社会保険労務士)</td> <td>6団体 9名</td> </tr> </tbody> </table> <p>2. 個別相談会の実施 法人が抱える課題に対して、個別に専門家が対応する相談会(労務相談およびNPO運営相談)を実施した。</p> <p>① 労務相談 日時: 2月13日(木) 15:30～17:00 相談団体数: 3団体 相談員: 田山 勉氏(特定社会保険労務士)</p> <p>② NPO運営相談 日程: 12月16日(月)、2月12日(水)、2月21日(金) 相談団体数: 4団体 相談員: 青木ユカリ(せんだい・みやぎNPOセンター常務理事)</p>			日時	セミナー名	講師	参加団体数・参加人数	11月12日(火) 13:30～16:00	どう考える?! NPOの世代交代・事業継承セミナー	土佐 昭一郎 (せんだい・みやぎNPOセンター代表理事、 ミヤギユースセンター代表) 事例提供: 小川ゆみ(一般社団法人マザー・ ウイング代表理事) アドバイザー: 茂木宏友(司法書士)	5団体 6名	1月16日(木) 13:30～15:30	NPO法人のためのリスクマネジメント	中原 美香氏 (NPOリスクマネジメント・オフィス代表)	4団体 7名	2月13日(木) 13:30～15:30	働く環境を整える労務セミナー	田山 勉氏 (特定社会保険労務士)	6団体 9名
	日時	セミナー名	講師	参加団体数・参加人数															
	11月12日(火) 13:30～16:00	どう考える?! NPOの世代交代・事業継承セミナー	土佐 昭一郎 (せんだい・みやぎNPOセンター代表理事、 ミヤギユースセンター代表) 事例提供: 小川ゆみ(一般社団法人マザー・ ウイング代表理事) アドバイザー: 茂木宏友(司法書士)	5団体 6名															
	1月16日(木) 13:30～15:30	NPO法人のためのリスクマネジメント	中原 美香氏 (NPOリスクマネジメント・オフィス代表)	4団体 7名															
2月13日(木) 13:30～15:30	働く環境を整える労務セミナー	田山 勉氏 (特定社会保険労務士)	6団体 9名																
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・4つの講座とセミナー(杜の伝言板ゆるるとの開催分も含む)でアンケートを行った結果、96%の参加者が「大変満足」「満足」と回答。理解度も全員が「十分理解」「理解」のいずれかを選択し、全体として高評価を得られた。 ・事業継承セミナーでは、座学に加えて実践者からも話題が提供され、参加者の置かれている状況を客観的に振り返ることにつながった。 ・リスクマネジメントセミナーでは、参加者から具体的な困り事についての質問があがり、どの時点でどのような対応が望ましいかなどを再確認できた。 ・労務セミナーでは、特に法人化間もない団体の担当者にとっては、基本を押さえることにつながった。 																		
備考	共催 : 仙台市市民協働推進課、認定NPO法人杜の伝言板ゆるると																		

事業名	分類	(2) 地域課題の発掘と解決に向けた 具体の活動の推進	定款 第4条 (活動の種類と事業) 2項 (4) ネットワーキング事業 (5) 調査研究および政策提言事業
	1. みんなみんファンド 2. 物品提供		
目的	地域のNPOが必要とするさまざまな経営資源を企業・各種団体・市民など社会一般から集め、それをNPOに仲介・提供することでNPOを支援し、地域の活性化を図る。また、資源提供を通して、企業とNPOの新しい関係を作り、地域社会に対する参加を促進する。		
実施概要	1. みんなみんファンド <ul style="list-style-type: none"> ・株式会社日専連ライフサービスより、NPOカードの拠金よりご寄付(93,690円)をいただいた。また、講演先から1件、ご寄付をいただいた。 ・2019年10月に発生した台風19号によって被災した地域での支援活動に関する情報交換を関連団体と行った。 2. 物品提供 <ul style="list-style-type: none"> ・明治ホールディングス株式会社の株主よりお菓子の寄贈仲介 2019年12月、明治ホールディングス株式会社の株主より、CSR活動の一環として、障がいのある子どもを対象とした活動を行っている団体あるいは東日本大震災、台風19号の被災地で子どもを対象に活動をしている団体へのお菓子寄贈プログラムに、特定非営利活動法人日本NPOセンターを通して下記の5団体へ提供の仲介を行った。(五十音順) <ul style="list-style-type: none"> ・一般社団法人マザー・ウイング ・きずなネット ・清水沢東こどもカフェ ・一般社団法人めるくまーる ・ゆうわ子ども食堂 		
成果	・みんなみんファンドについては、新たな広報等はないが、講演先やタイミングに応じて、思いを寄せていただく方々がおられる。		
課題	・みんなみんファンドの今後の運用に関して、継続検討。		
備考	1. ご寄付 : 株式会社日専連ライフサービス、他 2. 提供元 : 明治ホールディングス株式会社株主		

事業名	分類	(2) 地域課題の発掘と解決に向けた具体的な活動の推進	定款 第4条 (活動の種類と事業) 2項 (4) ネットワーキング事業 (5) 調査研究および政策提言事業
	他団体との連携による政策提言に関する事業		
実施概要	<p>全国のNPO支援センターとの連携のもと、政策提言に関する情報交換や進捗状況の共有など行った。展開に応じて宮城県内、東北ブロックなど連携して推進している。</p> <p>○NPO法人会計基準協議会 ・通常総会 : 2019年6月13日@東京 ・内閣府東北・北海道NPO担当者ブロック会議参加者との意見交換会への出席 2019年9月26日@山形市</p> <p>○NPOの法制度等改革推進会議 ・通常総会 : 2019年6月14日@東京</p> <p>○民間NPO支援センター・将来を展望する会(CEO会議) ・会議への出席 : 2020年1月8日～9日@岡山市</p>		
	備考		
事業名	分類	(2) 地域課題の発掘と解決に向けた具体的な活動の推進	定款 第4条 (活動の種類と事業) 2項 (5) 調査研究および政策提言事業
	その他の支援事業		
実施概要	<p>○宮城県NPO等の絆力を活かした震災復興支援事業 受益者アンケート業務</p> <p>[業務概要] 宮城県NPO等の絆力を活かした震災復興支援事業では、国の事業活用しながら、NPO等の非営利活動が行っている被災地の復興や被災地支援活動を支援している。 NPO等の復興・被災者支援の活動が今後も継続されるよう、NPO等の復興・被災者支援の活動に関する効果を把握するため、今年度、本事業を活用し行われている復興・被災者支援の活動について、活動を通じて支援を受けられた方(受益者)を対象としたアンケートを実施し、受益者の方々が支援を受けられたことによる効果などを把握するもの。</p> <p>[期間] 2019年11月～2020年3月</p> <p>[対象団体] 「平成31年度宮城県NPO等の絆力を活かした震災復興支援事業」補助事業者20団体</p> <p>回収されたアンケートを既定の集計表に取りまとめて提出した。</p>		
	備考 委託元 : 宮城県		

	分類 (4)情報発信事業	定款 第4条 (活動の種類と事業) 2項 (6) 情報サポート事業																																
事業名	1. ニュースレター「みんな」 2. 書籍販売部みんな堂 3. ウェブ系情報発信(ホームページ、ブログ、ツイッター、フェイスブック) 4. 河北新報夕刊『志民の輪』への執筆・監修																																	
目的	1. センター概要と実施事業の進捗、成果について、会員や全国の中間支援組織などに伝える。 2. 本事業に加え、NPOセクターの動き、宮城県域での動きなどを市民へ伝える。																																	
実施概要	1. ニュースレター「みんな」 スタッフによる広報チームを編成し、企画・執筆調整・編集等、分担し体制が整いつつあったが、半ば体制の組み直しや執筆の遅延などが影響し、2019年度には発行に至らなかった。 これまでA3二つ折り、8ページ(発行部数600部)の形態としてきたが、形態の見直しを含めて2020年度に刷新予定。 2. 書籍販売部みんな堂 ○種の書籍を取り扱っている。新刊の仕入れは行わなかった。 3. ウェブ系情報発信(ホームページ、ブログ、ツイッター、フェイスブック) <ul style="list-style-type: none"> ①ホームページ: 当法人主催および協力イベント情報やお知らせを随時更新した。 法人のキーカラーと色調をあわせて、配色の変更を年度末におこなった。 なお、情報更新に際して、操作性の課題があるため、タイムリーな発信にかけている。 ②ブログ: 基本的に団体のフロー情報を掲載。リニューアル後、未活用のまま。 ③フェイスブック: 講座やイベントの現在進行形の情報提供。メインターゲットは、フェイスブックユーザーとそのネットワーク。事業等の情報を随時投稿した。 投稿数は68(月:5~6件)。4月から始まった河北新報夕刊「志民の輪」への掲載内容の紹介や、10月に発生した台風19号における災害支援活動情報に関しては、発信の頻度に応じた、リーチ数は上がり、ファン以外の反応が多くをしめたことがわかった。 ④ツイッター: ブログやホームページへの誘導ツール。こちらもリニューアル後、活用していない状況にある。 4. 河北新報夕刊『志民の輪』への執筆・監修 2019年4月より、河北新報夕刊月曜版に「志民の輪」が始まり、当センターと認定NPO法人杜の伝言板ゆるると交互に隔週で担当することになった。 掲載内容は、特集記事「とびらを開く」では課題の見える化を、オピニオン「わたしの視点から」では、活動者や実践者の目線からの問題提起や読者への参加の呼びかけを、イベント・話題「ふみだす info」では読者の参加を促す情報提供する3つのコーナーである。「とびらを開く」は、河北新報ONLINE NEWSから見る事ができる。 https://www.kahoku.co.jp/special/spe1179/index.html 編集体制は、理事・スタッフ、外部協力者等で4~5名のチームで分担。半年1クールとして、体制を見直しながら取り組んでいる。企画会議は1~2ヶ月に1回開き、取材先や執筆依頼者の選定等行っている。																																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>掲載日</th> <th>とびらを開く</th> <th>わたしの視点から お名前/ご所属・役職(敬称略)</th> <th>ふみだす info</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2019/4/8</td> <td>「民力」引き出し20年 仙台市市民活動サポートセンター</td> <td>「日常をつくる」ということ 石井山竜平 東北大学大学院教育学科研究科准教授</td> <td>・ロクナアート体験 ・「協働」に役立つ情報 ・東北初のまちスポ</td> </tr> <tr> <td>4/22</td> <td>中退者の未来を創造 特定非営利活動法人ミヤギユースセンター</td> <td>仙台発 就活の新しいルール 渡邊一馬 一般社団法人ワカツク代表理事</td> <td>・食べ物の譲り合いを ・美しい広瀬川 将来に ・自立目指す人を応援</td> </tr> <tr> <td>5/20</td> <td>心の自立に寄り添う 認定NPO法人Switch</td> <td>絵本から社会課題に触れる 楠田洋一 多賀城市市民活動サポートセンター副センター長</td> <td>・アートで出会う福祉 ・休日プロデュース ・ジャズフェス一緒に</td> </tr> <tr> <td>6/3</td> <td>ペット同行避難 支援 NPO法人エーキューブ</td> <td>子の貧困 見えにくく複雑 大橋雄介 特定非営利活動法人アスイク代表理事</td> <td>・絵本通じNPO学ぶ ・スポーツ 支え楽しむ ・震災伝承活動に力を</td> </tr> <tr> <td>6/17</td> <td>自分事で考える平和 長崎の語り部から学ぶ会</td> <td>「ものがたり」を探し伝える 佐藤正実 3.11 オモイデアーカイブ</td> <td>・市民活動の基礎学ぶ ・「始めたい」を後押し ・多様な性への理解を</td> </tr> <tr> <td>7/1</td> <td>政治 肌で感じる好機 仙台市議選 気軽に語り合おう NPO法人メディアアージュ、エフエムたいはく</td> <td>「家族の孤立」相談できる場を 阿部恭子 NPO法人ワールドオープンハート理事長</td> <td>・広瀬川の魅力に乾杯 ・買い物で社会貢献を ・七夕花火 会場美しく</td> </tr> <tr> <td>7/22</td> <td>気軽な交流 愛着育む 町内会担い手確保 夏祭り生かそう 多賀城市高橋地区、桜木南地区</td> <td>住み良さ追求 組織見直しへ 今野 均 片平地区まちづくり会会長</td> <td>・「交流プラザ」身近に ・「海の学校」本格再開 ・母親との関係探ろう</td> </tr> </tbody> </table>	掲載日	とびらを開く	わたしの視点から お名前/ご所属・役職(敬称略)	ふみだす info	2019/4/8	「民力」引き出し20年 仙台市市民活動サポートセンター	「日常をつくる」ということ 石井山竜平 東北大学大学院教育学科研究科准教授	・ロクナアート体験 ・「協働」に役立つ情報 ・東北初のまちスポ	4/22	中退者の未来を創造 特定非営利活動法人ミヤギユースセンター	仙台発 就活の新しいルール 渡邊一馬 一般社団法人ワカツク代表理事	・食べ物の譲り合いを ・美しい広瀬川 将来に ・自立目指す人を応援	5/20	心の自立に寄り添う 認定NPO法人Switch	絵本から社会課題に触れる 楠田洋一 多賀城市市民活動サポートセンター副センター長	・アートで出会う福祉 ・休日プロデュース ・ジャズフェス一緒に	6/3	ペット同行避難 支援 NPO法人エーキューブ	子の貧困 見えにくく複雑 大橋雄介 特定非営利活動法人アスイク代表理事	・絵本通じNPO学ぶ ・スポーツ 支え楽しむ ・震災伝承活動に力を	6/17	自分事で考える平和 長崎の語り部から学ぶ会	「ものがたり」を探し伝える 佐藤正実 3.11 オモイデアーカイブ	・市民活動の基礎学ぶ ・「始めたい」を後押し ・多様な性への理解を	7/1	政治 肌で感じる好機 仙台市議選 気軽に語り合おう NPO法人メディアアージュ、エフエムたいはく	「家族の孤立」相談できる場を 阿部恭子 NPO法人ワールドオープンハート理事長	・広瀬川の魅力に乾杯 ・買い物で社会貢献を ・七夕花火 会場美しく	7/22	気軽な交流 愛着育む 町内会担い手確保 夏祭り生かそう 多賀城市高橋地区、桜木南地区	住み良さ追求 組織見直しへ 今野 均 片平地区まちづくり会会長	・「交流プラザ」身近に ・「海の学校」本格再開 ・母親との関係探ろう	
掲載日	とびらを開く	わたしの視点から お名前/ご所属・役職(敬称略)	ふみだす info																															
2019/4/8	「民力」引き出し20年 仙台市市民活動サポートセンター	「日常をつくる」ということ 石井山竜平 東北大学大学院教育学科研究科准教授	・ロクナアート体験 ・「協働」に役立つ情報 ・東北初のまちスポ																															
4/22	中退者の未来を創造 特定非営利活動法人ミヤギユースセンター	仙台発 就活の新しいルール 渡邊一馬 一般社団法人ワカツク代表理事	・食べ物の譲り合いを ・美しい広瀬川 将来に ・自立目指す人を応援																															
5/20	心の自立に寄り添う 認定NPO法人Switch	絵本から社会課題に触れる 楠田洋一 多賀城市市民活動サポートセンター副センター長	・アートで出会う福祉 ・休日プロデュース ・ジャズフェス一緒に																															
6/3	ペット同行避難 支援 NPO法人エーキューブ	子の貧困 見えにくく複雑 大橋雄介 特定非営利活動法人アスイク代表理事	・絵本通じNPO学ぶ ・スポーツ 支え楽しむ ・震災伝承活動に力を																															
6/17	自分事で考える平和 長崎の語り部から学ぶ会	「ものがたり」を探し伝える 佐藤正実 3.11 オモイデアーカイブ	・市民活動の基礎学ぶ ・「始めたい」を後押し ・多様な性への理解を																															
7/1	政治 肌で感じる好機 仙台市議選 気軽に語り合おう NPO法人メディアアージュ、エフエムたいはく	「家族の孤立」相談できる場を 阿部恭子 NPO法人ワールドオープンハート理事長	・広瀬川の魅力に乾杯 ・買い物で社会貢献を ・七夕花火 会場美しく																															
7/22	気軽な交流 愛着育む 町内会担い手確保 夏祭り生かそう 多賀城市高橋地区、桜木南地区	住み良さ追求 組織見直しへ 今野 均 片平地区まちづくり会会長	・「交流プラザ」身近に ・「海の学校」本格再開 ・母親との関係探ろう																															

実施概要

掲載日	とびらを開く	わたしの視点から お名前/ご所属・役職(敬称略)	ふみだす info
8/5	舞台裏に大勢の協力 仙台七夕まつり 仙台北法人会中央支部、仙台七夕まつり協賛会	世代間交流 地域活性の鍵に 千葉裕貴 なかやま商店街振興組合専務理事	・魚さばいて男科理を 「傾聴」気軽に学ぼう ・DVの根絶を考える
8/26	旅人と歩む復興の道 みちのくトレイルクラブ	「共創」の力で良い社会実現 原 亮 エイチタス(東京)社長	・話そう発達の心配事 ・よさこい運営 一緒に ・駆け込み寺 支えよう
9/9	文化の違い学び合う 築こす 技能実習生との良好な関係 ユニバーサル株式会社仙台工場、在仙台ベトナム人協会	仙台発 同時代性映す表現を 関本欣哉 ターンアラウンド代表	・オリジナル風作るう ・世界をもっと好きに ・地域活動 文章で光を
10/7	支える側も支援必要 障害者の兄弟姉妹に思いを NPO法人アフタースクールぼるけ	イタイイタイ病に歴史学へ 工藤寛之 まちかど公共研究所主宰	・本と人の出会い演出 ・ダウン症 理解深めて ・こども食堂の今学ぶ
10/28	人手不足 地元が頼り 台風 19 号の被災地支援ボランティア 各災害ボランティアセンター、社会福祉協議会 他	住まいの再建に向けて 宇都彰浩 日本弁護士連合会災害復興委員会副委員長	・不登校児の親を支援 ・定禅寺通で社会実験 ・松葉さらい体験して
11/18	心支え世代間交流も 仙台自主夜間中学 開講5年 仙台に夜間中学をつくり育てる会	歩く人優先で四季を楽しむ 清水千佳 西公園を遊ぼうプロジェクト事務局	・障害者と共に楽しく ・詩人 災害と向き合う ・放射能問題考えよう
12/2	路上生活者救済に力 NPO法人仙台夜まわりグループ	子どもに居場所 地域豊かに 柴田滋紀 特定非営利活動法人にじろクレヨン理事長	・命守る教育 考えよう ・市民活動 始め方指南 ・買い物通じ社会貢献
12/16	足元の自然 魅力再考 復興住宅地で活動 15 年 仙台・里山ねっと赤坂	子ども 自然へ解き放とう 塚原俊也 くりこま高原自然学校校長	・多彩な「表現」を発掘 ・心の重荷 話して軽く ・音楽の力 丸森に元気
2020/ 1/6	万葉の風景もう一度 宮城のシジュウカラガン飛来地再生活動 日本雁を保護する会	歴史発信に力 笑顔生む 吉田忠彦 史都多賀城万葉まつり実行委員会総務部会長	・年始 ジャズ楽しもう ・発達障害 寄り添おう ・地域活動 プラン披露
1/27	市民参画 楽しさ共有 専門知識生かす まちづくりけん引 NPO法人都市デザインワークス	「ハコ」から「小屋」へ 坂口大洋 仙台高専教授	・まちの今昔考えよう ・個性光るアート世界 ・深沼の砂浜 きれいに
2/10	作り手の意欲育てる 新装 障害者のアンテナ店 小物と焼き菓子の店 エフブンノイチ 他	豊かな文化 共につくりよう 柴崎由美子 NPO法人エイブル・アート・ジャパン代表理事	・宮城県美術館 支えて ・歴史伝えるひな人形 ・関山街道の桜を紹介
3/2	東日本大震災9年 座談会④ つながり多様に育む 出席者：新井信幸 NPO法人つながりデザインセンター・あすと長町副代表理事、庄子隆弘「海辺の図書館」館長、 真壁さおり 宮城県サポートセンター支援事務所コーディネーター		
3/9	東日本大震災9年 座談会⑤ 未来へ 希望の種まく 出席者：同上 復興へ 支えた記録 (出席者所属団体の関連情報) 「海辺の図書館」連載漫画スタート / 生活支援員の互助的な重要性 指摘 / 災害公営住宅 自治の在り方説く		
3/30	揺れる心に寄り添う 死別経験した人に語らいの場を NPO法人仙台グリーフケア研究会	若者パワーで地域を元気に 加藤 隆 長町・あすと長町活性化委員会	・電話で何でも話そう ・地域課題 若者が解決 ・東北の民話 読み継ぐ

□ 2019年4月8日～2020年3月30日：21回掲載

成果

- ・ウェブ系情報発信においては、災害時や緊急的なアクションの発信は、フェイスブックの拡散が効果的であった。
- ・河北新報夕刊「志民の輪」へ掲載内容の関連団体から、読者の反応や反響があったとの連絡をいただくことがあった。内外含めてコミュニケーションの頻度が高まった。

課題

- ・PR戦略検討後の計画への落とし込みと体制の見直し
- ・ウェブサイトのリニューアルの検討
- ・夕刊編集体制の補強

備考

自主事業

事業名	分類	他団体との連携事業〔参画〕	定款 第4条（活動の種類と事業）2項
	1. 「みやぎソーシャルビジネス支援ネットワーク」への参画 2. みやぎ広域支援団体連絡担当者会議への参画 3. 防災・減災円卓会議への参画 4. NPOサポートリンクへの参画		(1) 人材の発掘・育成に係る事業 (2) 相談・コーディネート事業 (3) マネージメントサポート事業 (4) ネットワーキング事業
実施概要	1. 「みやぎソーシャルビジネス支援ネットワーク」への参画 宮城県内における地域課題の解決、東日本大震災からの復興等に取り組むNPO等へのサポートの充実を図ることを目的として、株式会社日本政策金融公庫 国民生活事業ほか全7機関は、2017年8月23日「みやぎソーシャルビジネス支援ネットワーク」を構築。当法人も構成団体として参画している。 ・構成機関 宮城県、仙台市、東北税理士会宮城県支部連合会、宮城県行政書士会、認定特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる、特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター、株式会社日本政策金融公庫国民生活事業(仙台支店第一事業、仙台支店第二事業、石巻支店、一関支店) ・宮城県「NPO等の絆力を活かした復興支援事業」の報告会の相談対応へ協力 2019年2月21日(気仙沼)実施、3月26日(仙台)※中止		
	2. みやぎ広域支援団体連絡担当者会議への参画 東日本大震災により沿岸市町を中心に支援活動を行っている団体の実務担当者による会議体。月1回開催。地域や分野ごとに異なる課題を共有し、県域課題の全体像を把握するなど情報共有等を行っている。当センターは、2017年より参加。 今年度は、東日本大震災における広域支援団体対応振り返り報告書(宮城県域広域支援団体の対応について)を作成し、今後の災害発生時におけるネットワークの整備に活かすべく、平時からの関係者間の関係構築に活用する。 ・構成団体 宮城県社会福祉協議会、宮城県サポートセンター支援事務所、みやぎ心のケアセンター、みやぎ連携復興センター、地星社、せんだい・みやぎNPOセンター、JPF、JCN、宮城復興局、復興庁、他、随時オブザーバー参加団体		
	3. 防災・減災円卓会議への参画 「同じ犠牲を繰り返さない」「同じ混乱と苦悩を繰り返さない」ために自治体、研究機関、民間組織、企業、報道機関などが広く参加する会議。2018年度より例会へ参加。		
	4. NPOサポートリンクへの参画 復興の先を見据えた連携による市民活動支援体制の構築に向けて2018年度より活動を始めたネットワーク。岩手、宮城、福島の県域、市町村域を超えた支援組織のネットワーク化により、より質の高いNPO支援が継続し、地域復興の支え手となることを目的としている。事業事務局は、NPO法人アットマークリアスNPOサポートセンターが担っている。 2019年度からメンバー団体として、多賀城市市民活動サポートセンター、オブザーバーとして当センターが参加している。リンクアップ会議、視察研修、勉強会、フォーラム等に担当スタッフ1名が継続参加をしており、内容に応じて他スタッフの参加を促した。2020年度が最終年度になる。		
備考			

Ⅲ. 講師派遣・各種委員会等

■講師派遣等

2019年度に講師派遣を行った主な講座・研修会は以下のとおりです。

内容	主催	開催地	開催日	担当
JVOAD 全国フォーラム 分科会 14：災害復興において担い手はいかに生まれてきたか～東日本大震災の経験から～	NPO法人全国災害ボランティア団体支援ネットワーク (JVOAD)	東京都	5/20	青木
平成 31 年度 N G O 指導者研修会	公益財団法人エイズ予防財団	東京都	6/22	太田
仙台市中心部における震災メモリアル拠点検討ワークショップ	仙台市防災環境都市・震災復興室	仙台市	8/3	中津 松村
シニア市民講座 ～「つながり」を生かした地域活動の始め方～	公益財団法人仙台市健康福祉事業団 せんだい豊齢学園	仙台市	9/6	小林 (正)
令和元年度学びを支える人材育成推進事業 「生涯学習応用研修」～広報研修～	仙台市生涯学習支援センター	仙台市	9/19	松村
令和元年度協働に関する職員研修会	岩沼市さわやか市政推進課	岩沼市	10/10	太田
せんだい環境ユースカレッジ	杜の都の市民環境教育・学習推進会議	仙台市	10/20	太田
2019 年度社会学級セミナー	仙台市社会学級研究会	仙台市	10/30	渡邊 (一)
宮城県地域コミュニティ再生支援事業 リーダー研修・交流事業	宮城県震災復興・企画部地域復興支援課	石巻市	11/26 12/19 1/30 2/4、27	櫛田
改正入管法の施行等を踏まえた多文化共生の担い手連携促進研修会 (北海道・東北ブロック) 「技能実習生・改正入管法施行に伴い在住する外国人材との共生について」	一般財団法人自治体国際化協会	仙台市	12/18	川口
市民活動のつどい	大崎市市民活動サポートセンター	大崎市	2/15	土佐
太白みらいサミット	太白区	仙台市	2/16	青木

■各種委員会等

2019年度に委嘱等を受けた主な委員会は以下のとおりです。

委員会名	主催	任期	担当
宮城県民間非営利活動促進委員会 委員	宮城県 共同参画社会推進課	2019年12月1日～ 2021年11月30日	青木
宮城県民間非営利活動促進委員会 拠点部会委員	宮城県 共同参画社会推進課	2018年12月1日～ 2019年11月30日	青木
宮城県地域包括ケア推進協議会 コミュニティ・生活支援専門委員会	宮城県 長寿社会政策課	2017年4月1日～	青木
宮城県情報公開審査会 委員	宮城県 総務部県政情報・文書課	2018年10月1日～ 2020年9月30日	青木

委員会名	主催	任期	担当
みやぎボランティア総合センター運営委員会 委員	社会福祉法人 宮城県社会福祉協議会	2018年7月18日～ 2020年3月31日	青木
仙台市市民協働事業提案制度プロジェクト検討会	仙台市 市民協働推進課	2016年4月1日～	青木
仙台市経営戦略会議 委員	仙台市 行財政改革課	2018年8月31日～ 2020年3月31日	青木
仙台市環境審議会 委員	仙台市 環境局環境部環境企画課	2018年4月1日～ 2020年3月31日	青木
仙台市役所本庁舎建設基本計画検討委員会 委員	仙台市 財政局本庁舎建替準備室	2018年12月5日～ 計画策定の日まで	青木
仙台市市民文化事業団 理事	公益財団法人仙台市市民文化事業団	2018年6月21日～ 2020年度定時評議員会	青木
仙台市青年文化センターの活性化に資する事業評価者	公益財団法人仙台市市民文化事業団	2017年10月16日～	青木
「仙台市文化プログラム」事業 審査委員	公益財団法人仙台市市民文化事業団	2017年11月1日～	青木
仙台市共同募金委員会 理事	社会福祉法人仙台市共同募金委員会	2018年4月1日～ 2020年3月31日	青木
名取市協働事業審査会 委員	名取市 男女共同・市民参画推進室	2019年11月1日～ 2021年10月31日	青木
みやぎ生協福祉活動助成金審査委員会委員	みやぎ生活協同組合	2018年3月21日～ 2020年3月20日	青木
東北ろうきん復興支援助成金制度選考委員会 選考委員	東北労働金庫	2016年10月27日～	青木
公益財団法人地域創造資金さなぶり評議員	公益財団法人地域創造資金さなぶり		青木
2019年全労済地域貢献助成事業審査委員会 審査委員	全労済	2019年4月1日～ 2020年3月31日	青木
みやぎNPO情報公開システム運用協議会 平成31年度運営委員会委員	みやぎNPO情報公開システム運用協議会事務局	2019年4月1日～ 2020年3月31日	土佐
みやぎNPOプラザ運営評議会委員	特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる	2019年4月1日～ 2022年3月31日	青木
公益財団法人仙台市建設公社 評議員	公益財団法人仙台市建設公社	2020年3月19日～令和2(2020)年度事業に関する提示評議会終結時まで	青木
仙台市市民活動サポートセンター事務用プース審査委員	仙台市 市民協働推進課	任期なし	太田

委員会名	主催	任期	担当
仙台市社会福祉協議会評議委員	社会福祉法人仙台市社会福祉協議会	2019年4月1日～ 2020年3月31日	太田
EPO東北パートナーシップ団体	東北環境パートナーシップオフィス(EPO東北)	任期なし	太田
地域社会活動・地域コミュニティ形成支援施設検討委員会委員	岩沼市 総務部復興創生課	任期なし	太田
いわぬま市民交流プラザ運営協議会委員	岩沼市 総務部さわやか市政推進課	2019年2月22日～ 2020年3月31日	太田
平成31年度みやぎNPOプラザ事務室使用団体選考審査会 選考委員	特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる		太田
多賀城文化未来プロジェクト選考員	多賀城市文化センター	2016年7月17日～	中津
多賀城市都市計画審議会委員	多賀城市 建設部都市計画課	2018年8月1日～ 2020年7月31日	中津
多賀城市環境審議会委員	多賀城市 市民経済部生活環境課	2019年3月20日～ 2021年3月19日	中津
多賀城市シルバーワークプラザ指定管理者評価委員会委員	多賀城市 保健福祉部介護福祉課	2017年8月22日～	中津
宮城高年齢者就労促進連絡会議	宮城労働局職業安定部職業対策課	2013年11月29日～	平野
仙台市市民文化事業団助成事業審査会 委員	公益財団法人仙台市市民文化事業団	2019年7月1日～ 2020年6月30日	松村

Ⅲ. 法人の運営に関する事項

(1) 通常総会の開催

第21回通常総会

日 時：2019年6月16日（日）13：30～15：00

会 場：東京エレクトロンホール宮城 401 中会議室

出席者数：出席18名 委任状29名 合計47名

（定足数は、正会員の過半数。正会員数74名）

議 事：第1号議案 2018年度事業報告書（案）及び決算報告書（案）の承認

第2号議案 中期計画（案）の審議・決定

第3号議案 2019年度事業計画書（案）及び収支予算書（案）の審議・決定

(2) 理事会の開催

年度内回数	通算回数	日時	主な内容
1	242	2019年 5月22日（水）	2018年度事業報告、収支決算について、2019年度事業計画、収支予算について、通常総会の議案について
2	243	6月16日（日）	通常総会の議事について、会員入退会者の承認について
3	244	9月25日（水）	仙台市市民活動サポートセンター指定管理者応募について、会員入退会について
4	245	11月26日（火）	仙台市市民活動サポートセンター指定管理者応募について、会員入退会について
5	246	2020年 2月5日（水）	2020年度事業予算について、理事改選の準備について、会員入退会について

※2020年3月31日現在／理事・監事・顧問・参与（順不同、敬称略）

代表理事（2名）：土佐昭一郎 渡邊一馬

理 事（8名）：大滝精一 石井山竜平 大橋雄介 齋藤和人 白木福次郎 高橋由佳 原亮
青木ユカリ（常務理事）

監 事（3名）：沼倉雅枝 長谷川公一 茂木宏友

顧 問（2名）：川村志厚 山田晴義

参 与（1名）：江崎正彰

(3) 評議員会

今期開催なし

(4) 会員について

2019年3月期：会員数 117人・団体

2020年3月期：会員数 116人・団体

(5) 事務局について

① 人員体制 (2020年3月31日現在)

○せんだい・みやぎNPOセンター本部事務局 (仙台市青葉区国分町)

代表理事：土佐昭一郎 渡邊一馬

事務局長：青木ユカリ

常勤職員：鶴巻さやか

派遣職員：今村順子

○仙台市市民活動サポートセンター (仙台市青葉区一番町)

センター長：太田貴

副センター長：菅野祥子、松村翔子

常勤職員：嶋村威臣、鈴木美紀、平野昭、堀隆一、水原のぞみ、松田照子、
小田嶋くるみ

非常勤職員：于楽、小林正夫、橋本昭正、舞草小春、宮崎真央、山田毅、矢野則子

シアター業務委託スタッフ：本儀拓、山澤和幸

○多賀城市市民活動サポートセンター (多賀城市中央)

センター長：中津涼子

副センター長：櫛田洋一

常勤職員：川口葉子、小林雅子、西城香織、齋藤裕之、武内基、奥村志都佳、

非常勤職員：浅野美幸、佐々木将太、渡辺剛

② 会議

<管理職会議>毎月1回程度

参加者：常務理事、事務局長、サポートセンター正副センター長

代表理事：オブザーバー参加

内容：本部、サポートセンター業務や事業における情報共有、事業や運営
に関する事項の検討など

実施：12回実施した。

2019年4月21日(日)、5月21日(火)、6月25日(火)、7月16日(火)、
8月20日(火)、9月17日(火)、10月15日(火)、11月19日(火)、12月17
日(火)、2020年1月21日(火)、2月18日(火)、3月17日(火)

<センター会議>

参加者：全職員、事務局長、内容に応じて代表理事も参加

内容：本部からの報告、各事業別報告や情報共有、スタッフ研修など

実施：4回実施した。

2019年6月26日（水）、7月24日（水）中期計画に関する共有会

10月23日（水）、12月25日（水）組織開発ワークショップ

※組織開発ワークショップ 講師：山元圭太氏（合同会社喜代七 代表）

※その他、各拠点において全体ミーティング、ケースミーティング、班およびチームミーティング、所管課との四半期ミーティングを開催した。

<スタッフ面談>

参加者：常務理事、事務局長、職員

内容：2回開催した。その他、個別状況に応じて常務理事、事務局長、サポートセンター正副センター長と職員との面談を重ねて対応した。

2019年7月18日（木）～7月26日（金）：新年度体制に関すること

12月10日（火）～1月6日（月）：次年度に向けての意向確認等

今後のキャリア志向や問題意識など

(6) 職員研修

外部研修への参加を促し、積極的に交流も図っていった。

研修名、等	主催	日程	参加
みちのく潮風トレイル全線開通記念式典・シンポジウム	環境省、名取トレイルセンター運営協議会	2019年 6月9日（日）	1名
NPOサポートリンク 2019 勉強会	NPOサポートリンク	7月9日（火）	5名
これからの震災メモリアルを語る—東日本大震災の経験を未来につなぐ拠点とは—	仙台市	8月3日（土）	2名
多工連CSR・SDGs勉強会	多工連	8月6日（火）	1名
多工連SDGs勉強会	多工連	9月3日（火）	1名
タケダいのちとくらし再生プログラム テーマ別研修「コミュニティワークを学ぼう」	特定非営利活動法人日本NPOセンター	10月25日（金）、 26日（土）	3名
かほくNews Bus	河北新報社	11月21日（木）、 22日（金）	1名
新・仙台市環境行動計画 庁舎施設管理研修	仙台市	11月22日（金）	1名
とうほくNPOフォーラム in 陸前高田 2019 ～ 現在（いま）復興の先を見据えてNPOは何をするべきか ～	NPOサポートリンク・フォーラム in 陸前高田 2019 実行委員会	11月27日（水）	3名
みやぎNPOフォーラム	宮城県（みやぎNPOプラザ）	11月30日（土）	2名
ボランティアネットワーク	仙台市社会福祉協議会	12月5日（木）	1名
中間支援組織スタッフ向け相談支援研修	NPO法人地星社	12月6日（金）	1名
ボランティアコーディネーター研修	宮城県社会福祉協議会 みやぎボランティア総合センター	12月19日（木）	1名
市民協働事業提案制度 令和2年度事業公開プレゼンテーション	仙台市	2020年 1月20日（月）	3名
労務管理セミナー		2月4日	1名
総務セミナー		2月5日	1名
プロボノ普及啓発セミナー	宮城県	2月13日（木）	1名
NPOサポートリンク 2019 勉強会	NPOサポートリンク	3月16日（月）	4名

IV. 2019年度 決算報告書

- 活動計算書
- 貸借対照表
- 財産目録
- 計算書類の注記、事業費の内訳
- 監査報告書

活動計算書

平成 31年 4月 1日 から令和 2年 3月 31日 まで

特定非営利活動法人 せんだい・みやぎNPOセンター

(単位:円)

科 目	金	額
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員受取会費	250,000	
賛助会員受取会費	5,000	255,000
2. 受取寄附金		
受取寄附金	1,348,742	1,348,742
3. 事業収益		
事業収入	8,910,998	
仙台市SC指定管理	82,596,309	
多賀城市SC委託	37,250,000	128,757,307
4. その他収益		
受取利息	372	
雑収入	542,454	542,826
経常収益計		130,903,875
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
給料手当	74,421,457	
法定福利費	10,858,177	
通勤費	3,369,706	
福利厚生費	328,586	
人件費計	88,977,926	
(2) その他経費		
期首棚卸高	50,481	
合計	50,481	
期末棚卸高	△ 50,481	
売上原価	0	
業務委託費	3,793,286	
諸謝金	1,609,452	
印刷製本費	2,967,643	
打合会議費	266,517	
旅費交通費	704,426	
車両費	44,835	
通信運搬費	2,174,373	
消耗品費	1,506,128	
広告宣伝費	372,460	
保守・修繕費	1,917,573	
水道光熱管理費	9,429,462	
地代家賃	1,871,233	
減価償却費	396,163	
保険料	44,230	
諸会費	130,600	
租税公課	9,660	
研修費	30,000	
支払手数料	369,272	
資料収集費	256,839	
外注費	6,887,812	
リース代	2,281,558	
会場費	60,220	
スタッフ研修費	41,329	
雑費	89,222	

科 目	金	額
その他経費計	37,254,293	
事業費計		126,232,219
2. 管理費		
(1) 人件費		
給与手当	472,160	
人件費計	472,160	
(2) その他経費		
打合会議費	50,716	
車両費	2,222	
通信運搬費	19,994	
地代家賃	67,966	
支払手数料	1,922	
会場費	18,915	
雑費	7,000	
その他経費計	168,735	
管理費計		640,895
経常費用計		126,873,114
当期経常増減額		4,030,761
III 経常外収益		
経常外収益計		0
IV 経常外費用		
経常外費用計		0
税引前当期正味財産増減額		4,030,761
法人税、住民税及び事業税		72,000
当期正味財産増減額		3,958,761
前期繰越正味財産額		34,096,623
次期繰越正味財産額		38,055,384

貸借対照表

令和 2年 3月 31日 現在

特定非営利活動法人 せんだい・みやぎNPOセンター

(単位:円)

科 目	金	額	
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	30,874,083		
未収金	22,260,876		
棚卸資産	50,481		
前払費用	4,000		
立替金	198,762		
流動資産合計		53,388,202	
2. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
什器備品	41,843		
有形固定資産計	41,843		
(2) 無形固定資産			
無形固定資産計	0		
(3) 投資その他の資産			
敷金	849,600		
長期前払費用	13,800		
投資その他の資産計	863,400		
固定資産合計		905,243	
資産合計			54,293,445
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	6,455,691		
未払消費税等	2,709,100		
未払法人税等	72,000		
賞与引当金	4,036,343		
預り金	2,964,927		
流動負債合計		16,238,061	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			16,238,061
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		34,096,623	
当期正味財産増減額		3,958,761	
正味財産合計			38,055,384
負債及び正味財産合計			54,293,445

財 産 目 録

令和 2年 3月 31日 現在

特定非営利活動法人 せんだい・みやぎNPOセンター

(単位:円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
【流動資産】		
(現金)		
本部	256,997	
仙台SC	111,278	
多賀城SC/コピー機	52,300	
多賀城SC	71,938	
(現金) 合計	492,513	
(預金)		
仙台銀行/中央通支店 普通預金 4094031	19,050,197	
仙台銀行/中央通支店 普通預金 4094034	7,730,933	
仙台銀行/中央通支店 普通預金 4094035	100	
杜の都信用金庫/中央支店 普通預金 3055278	14,406	
東北労働金庫/本店 普通預金 5543919	258,632	
東北労働金庫/本店 普通預金 5823126	2,047,480	
(預金) 合計	29,101,748	
(郵便)		
郵便振替 02260-3-16325	1,279,822	
(郵便) 合計	1,279,822	
(未収金)		
多賀城市市民活動センター運営等業務委託料1~3月分	20,487,500	
その他	1,773,376	
(未収金)合計	22,260,876	
(棚卸資産)		
書籍 計	50,481	
(前払費用)		
(公財)宮城県文化振興財団/6月14日総会会場費	4,000	
前払費用 計	4,000	
(立替金)		
概算雇用保険料	198,762	
立替金 計	198,762	
流動資産 合計		53,388,202
【固定資産】		
(有形固定資産)		
什器備品	41,843	
有形固定資産 計	41,843	
(投資その他の資産)		
敷金	849,600	
敷金 計	849,600	
プリンター保守料	7,560	
ライブラリー/保険料	6,240	
長期前払費用 計	13,800	
固定資産 合計		905,243
資産の部 合計		54,293,445
II 負債の部		
【流動負債】		
(未払金)		
人件費	6,455,691	
(4,086,302)		
社会保険料	(758,275)	
水道光熱費	(850,274)	
外注費	(78,000)	
その他	(682,840)	
未払消費税等	2,709,100	
未払法人税等	72,000	
賞与引当金	4,036,343	
(預り金)	2,964,927	
報酬源泉所得税	(71,769)	
住民税	(165,600)	
みんなん本体ファンド	(2,511,505)	
多賀城SC利用者預り金	(10,849)	
多賀城SC利用者コピー料金回収	(2,300)	
あじさい基金	(202,904)	
流動負債 合計		16,238,061
【固定負債】		
固定負債 合計		0
負債の部 合計		16,238,061
正味財産		38,055,384

計算書類の注記

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法を採用しております。

(2) 固定資産の減価償却の方法

・有形固定資産

定額法を採用しております。

(3) 引当金の計上基準

・賞与引当金

職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上しております。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっています。

2. 事業費の内訳

事業費の区分は別表の通りです。

3. 固定資産の増減内訳

(単位：円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
什器備品	1,777,140	0	0	1,777,140	△ 1,735,297	41,843
合計	1,777,140	0	0	1,777,140	△ 1,735,297	41,843

事業費の内訳

(単位：円)

	定款 (1) 人材の発掘・育成	定款 (2) 相談とコーディネート	定款 (3) マネジメントサポート	定款 (4) ネットワークキング	定款 (5) 調査研究及び政策提言	定款 (6) 情報サポート	定款 (7) 施設運営	事業費合計
従事者の人数(実施した人数)	7	10	5	3	4	7	38	74
受益対象者の範囲	県内・隣接県の居住者	県内・隣接県の居住者	県内・隣接県の居住者	県内・隣接県の居住者	県内・隣接県の居住者	県内・隣接県の居住者	主に仙台・多賀城の市民	
受益対象者の人数	450	350	600	200	450	50,000	101,000	153,050
給料手当	1,064,017	394,517	247,000	125,000	75,000	986,265	71,529,658	74,421,457
法定福利費	0	0	0	0	0	0	10,858,177	10,858,177
通勤費	0	0	0	0	0	0	3,369,706	3,369,706
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	328,586	328,586
人件費計	1,064,017	394,517	247,000	125,000	75,000	986,265	86,086,127	88,977,926
業務委託費	0	1,361,821	0	0	46,296	184,343	2,200,826	3,793,286
諸謝金	88,753	0	0	0	0	172,119	1,348,580	1,609,452
印刷製本費	18,918	0	0	0	88,454	0	2,860,271	2,967,643
打合せ議費	391	29,725	0	4,363	9,259	11,908	210,871	266,517
旅費交通費	19,049	43,094	12,076	47,914	0	1,476	580,817	704,426
車両費	1,583	14,694	2,241	8,973	0	463	16,881	44,835
通信運搬費	78,074	127,964	0	0	109	26,374	1,941,852	2,174,373
消耗品費	16,996	162,347	0	0	0	0	1,326,785	1,506,128
広告宣伝費	0	0	0	0	0	109,000	263,460	372,460
保守・修繕費	0	0	0	0	0	0	1,917,573	1,917,573
水道光熱管理費	0	0	0	0	0	0	9,429,462	9,429,462
地代家賃	21,408	57,098	5,096	3,058	3,058	12,233	1,769,282	1,871,233
減価償却費	0	0	0	0	0	0	396,163	396,163
保険料	0	5,000	0	0	0	0	39,230	44,230
諸会費	0	0	0	0	0	0	130,600	130,600
租税公課	800	3,110	0	0	200	800	4,750	9,660
研修費	0	0	0	0	0	30,000	0	30,000
支払手数料	1,200	35,700	0	0	0	770	331,602	369,272
資料収集費	0	0	0	0	0	926	255,913	256,839
外注費	0	2,885,185	0	0	0	0	4,002,627	6,887,812
リース代	0	0	0	0	0	0	2,281,558	2,281,558
会場費	13,937	509	0	0	0	1,818	43,956	60,220
スタッフ研修費	0	6,945	0	0	0	0	34,384	41,329
雑費	0	7,600	0	0	0	60,000	21,622	89,222
その他経費計	261,109	4,740,792	19,413	64,308	147,376	612,230	31,409,065	37,254,293
事業費合計	1,325,126	5,135,309	266,413	189,308	222,376	1,598,495	117,495,192	126,232,219

2019年度 監査報告書


特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター
代表理事 渡 邊 一 馬 様

私は、特定非営利活動促進法第18条の規定に基づき、2019年度（2019年4月1日～2020年3月31日）特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンターの決算について監査を行いました。

監査の方法として、重要な会議の議事録その他重要書類を閲覧するほか、理事から事業の報告を聴取し、合理的な保障を得るための手続きを実施いたしました。

・監査の結果、2019年度の特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンターの決算については適正なものと認めます。

2020年 5月 29日

監 事 長谷川 公一 

監 事 沼倉 雅枝 

監 事 茂 不 宏 友 

特定非営利活動法人 せんだい・みやぎNPOセンター

〒980-0803 宮城県仙台市青葉区国分町1-8-10 大和ビル4F

TEL 022-264-1281 FAX 022-264-1209

URL <http://www.minmin.org> E-mail minmin@minmin.org



特定非営利活動法人
せんだい・みやぎNPOセンター